

アサラスコップ

No.430

科学館マスコットキャラクター

アサラ

📍 ストロ[Astro]宇宙

📍 イエンス[Science]科学

📍 ライフ[LIFE]生命



あなたは、
もう狙われている

特別展

大地のハンター展

Hunters on Land — 陸の上にも4億年 —

3月12日(土)～6月12日(日) 名古屋市科学館 理工館
地下2階イベントホール

2022

春号

No.430

■特別展「大地のハンター展」

■科学館ではこんなことしてます!

■教室やプラネタリウムなど

■科学館行事予定表

■2022年度名古屋市科学館友の会 会員募集

■星座早見アプリで見る星空



名古屋市科学館
NAGOYA CITY SCIENCE MUSEUM



特別展

大地のハンター展

Hunters on Land — 陸の上にも4億年 —

第一章

現代の多様なハンターは、どのように生まれたのか？ハンティングに必要な生物の顎と歯の進化を追って、太古のハンターの姿に迫ります。太古のハンターというと大型の肉食恐竜を想像するかもしれませんが、恐竜が常に生態系の頂点にいたわけではありません。本展では恐竜を食べていたと推定される、大型のワニ類や哺乳類も紹介します。



レノマムス・ギカンティクス

第二章

水辺、森林、草原、地中、荒野のような様々な環境に生息する現生のハンターを紹介します。登場する生物は実に多彩。なかでも、貴重な大型のワニ類やフクロウ類の標本は必見です。



ライオン

第二章 大地に生きるハンター

地球上の様々な環境に適応したハンターたちを観察しよう！



ハシビロコウ

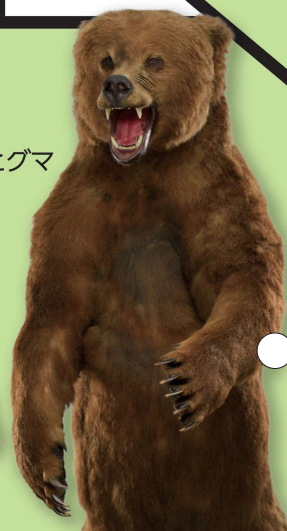


ベルツノガエル

★フクロウ スペシャル

フクロウの仲間は捕るエサの違いによって姿がちがう。どんな風にちがう？

ヒグマ

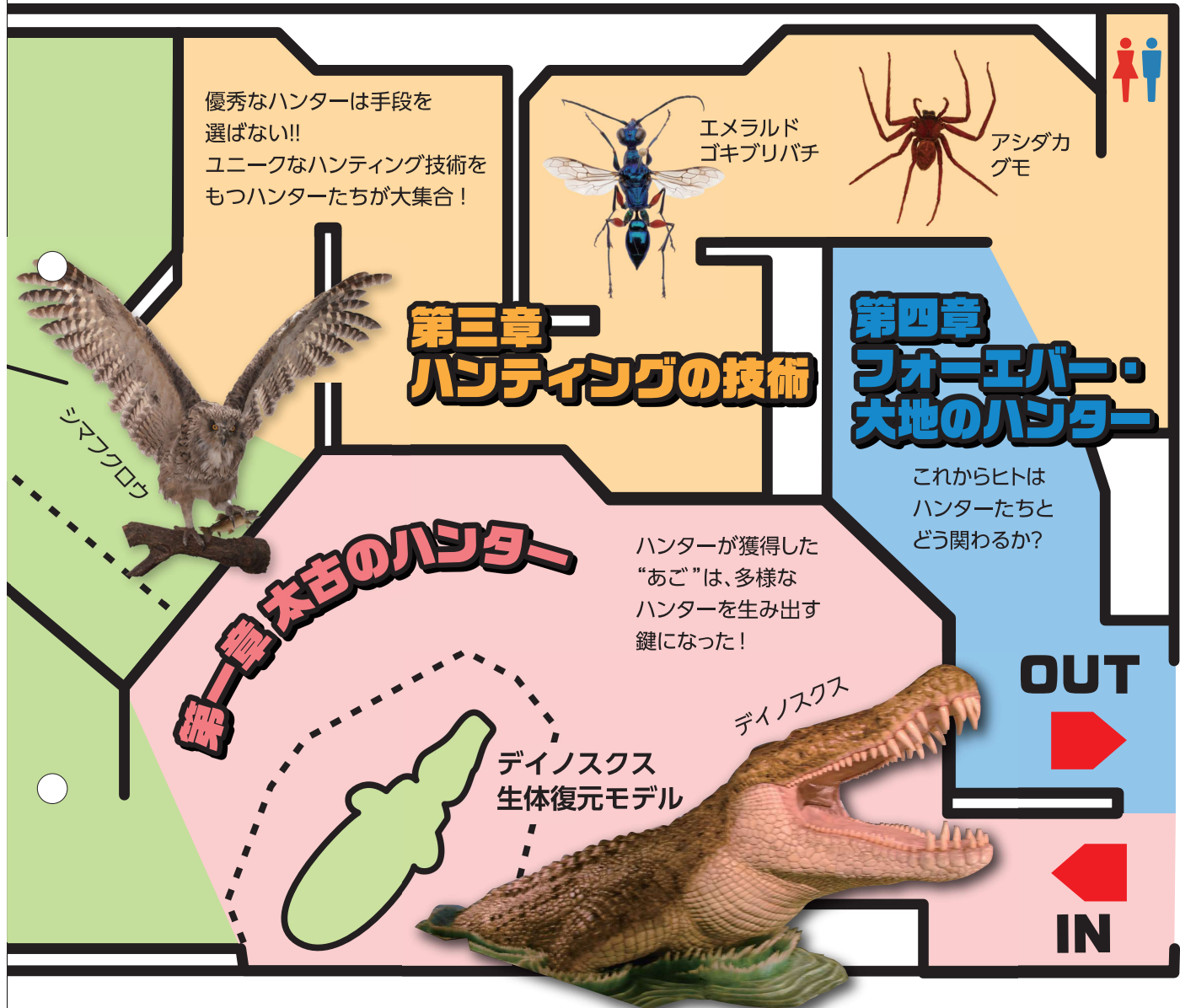


第三章

生きるために身につけた能力「ハンティング技術」を徹底解明！様々なハンターの優れた感覚を活かしたハンティング技術を紹介。毒を利用し自分より大きな獲物を意のままに操るハチなど、知られざるハンターの実態にマニアックに迫ります！

大地に生きるハンターたちが、名古屋市科学館に大集合!

本展では動物が生きていくために必要な営み「捕食(捕らえて食べる)」に着目します。ハンターの起源や顎と歯の進化、ユニークなハンティングテクニックの展示を通じて、地球上に生息する多様な陸のハンターの世界を紹介します。国立科学博物館が誇る貴重な標本のコレクションを中心に、大型のワニやヘビ、ネコ科の哺乳類、フクロウなどの鳥類、ハチなどの昆虫類をはじめとする多彩な標本がやってきます。



第四章

人間の活動と生態系の関係を、外来種となったハンターや絶滅したハンターを例に考える展示で大地のハンター展を締めくくります。

名古屋会場限定展示も公開!

本展は2021年に東京・上野の国立科学博物館などで開催された巡回展示ですが、名古屋会場では愛知県に生息するハンターの限定展示も公開します!また、当館学芸員が作成した大地のハンター展×東山動植物園のコラボ展示を東山動植物園で行います。こちらもどうぞお楽しみに!



科学館ではこんなことしてます！

話題の科学



理工館6階ではフロア全体のテーマとして、「最先端の科学」をとりあげています。このコーナーでは話題になった自然現象や関心が高まっている科学的な知見、学芸員の研究、自然科学系のノーベル賞受賞テーマなど、科学の各分野のホットな話題を紹介します。3月1日現在の話題は、以下の2つ。数ヶ月ごとに話題が変わっていきますので、いろんな話題を楽しんでください。

民間宇宙飛行、いよいよ本格始動！

この1年で、民間企業による宇宙飛行の技術がめざましく発展しています。このコーナーでは、近年の有人宇宙飛行ミッションについて紹介しています。

2021年には、アメリカのヴァージン・ギャラクティック社とブルー・オリジン社が、それぞれ民間人のみでの数分間の宇宙飛行に成功し、スペースX社は、民間人のみでの3日間の宇宙滞在を成功させています。また、昨年12月には日本人実業家の前澤友作さんが国際宇宙ステーションに12日間滞在し、大きな話題となりましたね。

宇宙飛行士の活躍も見逃せません。2021年に国際宇宙ステーションに滞在した、野口聡一さんと星出彰彦さんの活躍も取り上げています。また、新しい宇宙飛行士候補者の募集や、将来の月面探査計画「アルテミス計画」など、今後の計画についても解説しています。



軽石のひみつ

2021年、日本の海岸にはたくさんの軽石がやってきました。

みなさんは、軽石と聞いて何を思い浮かべますか？軽いから水に浮く、火山が関係しているみたい、かかとをこするアレ。今回の軽石漂着はニュースでも多く取り上げられ、「軽石」という言葉は私たちにとって珍しいものではなくなりました。しかし、どのようにできるのか、どんな活用法があるのか、実はまだ知らないこともたくさんあるのです。話題の科学「軽石のひみつ」では、そんな軽石について掘り下げ、そもそものでき方から最先端の研究についてまでじっくりと解説しています。

また、本物の軽石を展示しておりますので、ぜひあなた自身の目で「軽石ってこういうものなんだ」ということを確かめてみてください。きっと「軽石」がもっと楽しくなりますよ！

土日祝の科学館

ものづくり教室・工房・ひろば

ものづくりボランティアさん(通称ものボラさん)が、ものづくりを通して科学の面白さや不思議さを実感することができるよう、子どもたちの科学工作を支援しています。

※製作する作品は、ものづくりの開催日ごとに決まっており、作品を選ぶことはできません。

ものづくり教室

【参加費200円】

作品例「手回しジャイロ」



アサラの支持板を少し傾けて、模様のあるフライホイールを勢いよく回すと、アサラは倒れずに立ち続けます。

ものづくり工房

【参加費無料】

作品例「クルクル クリスマス」



土台の下にあるペットボトルキャップを回すと、クリスマスツリーだけではなく、サンタクロースや雪だるまもクルクルと回ります。

ものづくりひろば

【参加費無料】

※休日・祝日・長期休業等に不定期で実施します。

作品例

「とびだす虹の輪(ブンブンごま)」



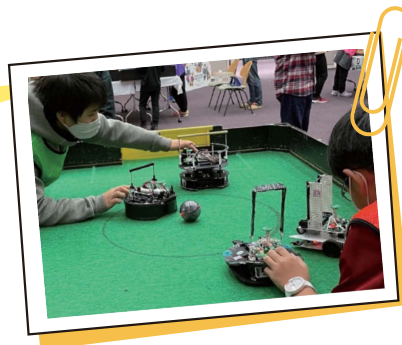
ひもを引っ張ってブンブンごまを勢いよく回すと、中から虹がとび出てきます。

ロボット工房・教室

ロボット工房に集まる生徒たちは、自分の作ったサッカーロボットで世界大会に出場し、そこで優勝することを目指しています。自分のアイデアを詰め込んだメカで機体を作り、プログラムを熟成させ、大会に挑みます。

ロボット教室は、その入口です。ロボット教室で自分のロボットを作ったらロボット工房に通って、プログラムを勉強し、ロボットの改良を行います。そして、年に1度名古屋大会に出場し、上位入賞できれば東海ブロック大会に進出することができ、さらにその先にジャパンオープン、世界大会への道がひらけます。

ロボット教室への参加には事前の申込とロボットキット一式の実費が必要です。また、ロボット工房は教室に参加された方を対象としたものです。



地球工房 【参加費 400円～1,000円程度】

ころんと手のひらに収まる鉱物や化石は、「さわれる地球のタイムカプセル」です。何万年、何億年と地球の地下深くに眠っていたモノたちが、今自分の手の中にあるなんて、とってもワクワクしませんか？

地球工房では、そんな鉱物や化石を使ったものづくりが楽しめます。お部屋にかざることのできるインテリアや小物入れ、期間限定のメニューもあります。はじめての方も、工作大好きなスタッフがサポートしますので、ご安心ください。いっしょに「地球」にふれてみましょう！

参加方法や開催日等詳しくは科学館公式ウェブサイト「土日祝の科学館」をご覧ください。

土日祝の科学館

■ものづくり工房

(午後2時～午後4時)
身の回りのものを使った簡単な科学工作です。

理工館3階 創造のひろば

■ものづくり教室

(午後2時～午後4時)
科学原理を利用した科学工作です。
整理券必要
※整理券は午後1時30分から理工館3階「創造のひろば」で配布します。

生命館6階 学習室

■地球工房

(土曜日：午後1時～午後4時)
(日曜日・祝日：午前11時～午後4時)
鉱物や化石など、天然の素材を利用したものづくりができます。
※なお、連休期間の開催時間は変更する場合があります。

生命館2階

■ロボット教室(事前申込)

(午前10時～午後4時)
自律型サッカーロボットの製作やプログラミングなど行っています。

生命館6階 実験室

■ロボット工房(事前申込)

(午前10時～午後4時)
自律型サッカーロボットの製作やプログラミングなど行っています。
※ロボット教室参加者のみ

理工館3階 創造のひろば



プラネタリウム *プラネッタ*

■一般投影(約50分)

今夜の星の探し方から、その時々々の天文現象、天文や宇宙の様々な話題等を、月替わりで取り上げます。一般の方向けに、専門学芸員が生で解説します。



3月 未来の星空 (3/1～4/7)

何千年、何万年と年月が流れたとき、今見上げている星空の見え方は変わるのでしょうか? デジタル式プラネタリウムの機能を活用して、個々の星の動きがもたらす未来の星空を再現します。

4月 北斗七星は星時計 (4/16～5/11)

この時期は北斗七星の見頃。印象的な星々の並びは、さまざまなものに見立てられ、お話が作られてきました。そして、北極星を中心に回る北斗七星は、時刻や季節の目じるしにもなるのです。

5月 南半球の星空 (5/12～6/16)

プラネタリウムは世界中の星空をドームに映し出すことができます。その機能を活用して、名古屋からは見られない南半球の星空を見に行きましょう。星空の海外旅行をお楽しみください。

6月 金・銀・プラチナどう出来た? (6/18～7/20)

身の回りの多種多様な元素は、長い年月をかけて星が作り出してきたものです。最近の観測によって、金、銀、プラチナのような重い元素は中性子星同士の合体で作られたことがわかってきました。

7・8月 ようこそ、宇宙旅行へ (7/21～8/31)

民間企業による宇宙飛行が現実のものになりました。日本人宇宙飛行士も地球周回だけではなく、月での活動も視野にいれて募集されました。夢物語から現実へ。宇宙旅行の今を見ていきましょう。

9月 宇宙の天文台 (9/1～9/30)

地球大気の影響を受けない宇宙空間は天文観測の理想の場所。しかし望遠鏡の開発や運用はとても困難です。有名なハッブル宇宙望遠鏡から最新のものまで、さまざまな宇宙の天文台を紹介します。

■ファミリーアワー(約50分)

幼児から小学校低学年のお子様連れのご家族にも安心して楽しんでいただける、遊び心あふれるプログラムです。今晚の星空はもちろん、宇宙旅行にもでかけます。初めてプラネタリウムをご覧になるという方もおすすめです。

- 3/12～ 5/22 「太陽系アドベンチャー」
- 5/28～10/16 「とびだせ! 星の世界へ」
- 10/22～1/29 「火星への旅」
- 2/4～ 「太陽系アドベンチャー」

■夜間投影(事前申込) 午後6時30分～午後7時30分

大人向けの夜間プラネタリウムです。その時々々にちなんだ天文の話題を取り上げます。各回のテーマをご確認の上、お申し込みください。
※展示室はご覧いただけません。

天文イベント

■市民観望会

3月：午後6時15分～午後8時30分(事前申込)
7月～8月：午後6時45分～午後9時00分(事前申込)

プラネタリウムでの講座の後、口径80センチの大望遠鏡をはじめ多数の望遠鏡で、観望条件のよい天体を観望します。

■昼間の星をみる会(事前申込不要・入館者対象)

3月～7月：午前11時～午後2時
8月～ ：午後12時10分～午後3時10分

天文台の口径80センチの大望遠鏡で昼間にみえる星を観望します。
曇天・雨天の場合は天文台公開のみとなります。



教室・講座など

■電子工作教室

小さな電子部品をハンダ付けしながら電子回路を作り、電子回路の基本を学びます。

■おじゃま虫キャラバン

スズメバチをはじめとした標本や衛生害虫について体験的に学べる資料の展示、昆虫にちなんだ簡単な工作などを紹介します。

■昭和基地ライブ

■リフレッシュ理科教室

※事前申込方法等詳細については科学館公式ウェブサイトをご覧ください。

表内の00は日にちを表します。

		2022 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
土日祝の科学館	土曜日	ものづくり工房 5 12 19	9 16 23 30	7 14 21 28	4 11 18 25	2 9 16		3 10 17 24
	日曜日	ものづくり教室	16	21	18	16		17
土日祝の科学館	土曜日	地球工房 12 19 26	2 9 23 29	7 21	4 18 25	9 16 23 30	6 13 27	10 17 24
	日曜日・祝日	地球工房 13 20 21 27	3 10 24 30	1 2 3 4 5 8 22	5 19 26	10 17 18 24 31	7 11 12 14 15 28	11 18 19 23 25
日曜日	ロボット工房	20	3 17	15	5 19	3 17	20	4 18
	ロボット教室	6 20	17	15	19	17	2 3	
プラネタリウム	一般投影	1 未来の星空	7 北斗七星は星時計	16 南半球の星空	11 12 金・銀・プラチナ どう出来た?	16 18 ようこそ、宇宙旅行へ	20 21	31 宇宙の天文台
	ファミリーアワー	12 太陽系アドベンチャー	22 28					とびだせ! 星の世界へ
プラネタリウム	夜間投影	24 星空のオルゴール		21 世界の星座たち	4 星空のオルゴール	7 七夕の夜	4 旧暦七夕の夜	10 お月見の夜
	市民観望会	13 月と冬の一等星をみる会				9 月と一等星をみる会	7 月遅れ七夕の星をみる会	
市民観望会	19 27	17 23	1 28	5 12 25	16 24 30	6 20	11 17	
教室・講座等						22 23 24 電子工作教室	6 リフレッシュ理科教室	
						27 おじゃま虫キャラバン		
特別展						昭基地ライブ 30		
		12 特別展「大地のハンター展」			12		9 特別展「宝石」(予定)	19

★行事の内容と日程は中止、変更する場合があります。

2022年度 名古屋市科学館友の会 会員募集

サイエンスクラブ

科学実験工作や会員向けプラネタリウムの観覧・夜間観望会(オンライン)など、科学の楽しさを身近に感じることができます。

小学生クラス 新5・6年生

募集人員 160名
年会費 7,000円(材料費含む)
例会 年間5テーマ、夜間観望会(2テーマ)

中学生クラス 新1~3年生

募集人員 64名
年会費 8,000円(材料費含む)
例会 年間5テーマ、夜間観望会(2テーマ)

天文クラブ

天文クラブの例会では、他では聞けない、見られない、楽しい天文学の話題等をたくさん体験していただけます。プラネタリウムでの例会(年4回)や会員向け特別観望会(オンライン開催、年2回)を通して、宇宙や天文学の話題を楽しく、より深く体験していただけます。他にも、機関誌「?」やメールマガジンでの情報発信など盛り沢山です。

対象 高校生以上・社会人の方

クラブ日程など詳しい内容は科学館公式ウェブサイトまたは会員募集チラシをご覧ください。(名古屋市科学館友の会 お問い合わせ先)

●申し込み方法

サイエンスクラブ申し込みフォーム
(<https://nyukai.nagoya-science.club>)からお申し込みください。

- 4月10日(日)午前9時30分から上記フォームにて先着順で受け付けます。
- 申込者(保護者)の氏名、電話番号、メールアドレス、入会者(本人)の氏名、学年、希望する組をご入力ください。
- 銀行振込については、4月15日(金)までに別途指定する金融機関の口座にお振込みください。期間内のお振込みを確認できない場合は、申し込みを取り消しますので、ご注意ください。
- 定員に満たない場合は、追加募集を行います。詳細は、科学館ホームページでお知らせします。

●広報・会員申し込み

4月12日(火)スタート

天文クラブ申し込みサイト
(<https://nyukai.nagoya-tenmon.club/>)及び館内配布のチラシにて、詳細を発表します。

お楽しみに!



TEL 052-201-4486 FAX 052-203-0788

星座早見アプリで見る星空

名古屋市科学館オリジナルの星座早見盤(ミュージアムショップで販売中。税込1,100円)にはアプリ版があります。スマートフォンやタブレットをお持ちの方は、AndroidでもiOSでもどちらも無料でお使いいただけます。

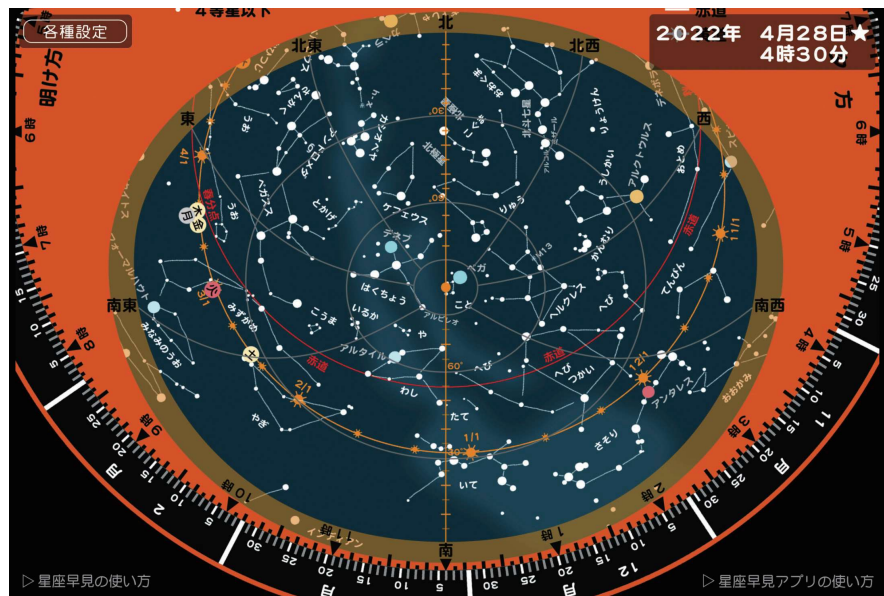
アプリの起動時には時計機能の時刻を読み取り、そのときの夜空を自動表示してくれます。他の時刻で見たい時は指先で盤をぐるぐる回して日付と時刻を合わせればOK。拡大縮小も指先で自由自在。さらに暗いところでも光って見やすくスターウォッチングのお供をします。

アプリのダウンロードはこちらから!



アプリ版イメージ

今年のゴールデンウィーク期間の明け方の空には金星、火星、木星、土星と月が勢揃いします。右の図は4月28日明け方のアプリ画面。東の低空に木星と月と金星、少し南へ離れたところに火星、そして土星が見えていますね。このように印刷の星座早見盤では不可能な月や惑星の位置まで表示できるIT時代の星座早見アプリなのです。さらに関東から九州まで使える自動経度設定機能や外国の方にもやさしい英語モードも入っています。上図中のQRコードを読み取ってぜひお使いください。



名古屋市科学館
NAGOYA CITY SCIENCE MUSEUM



芸術と科学の杜

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番1号(芸術と科学の杜・白川公園内)
TEL:052-201-4486 FAX:052-203-0788
団体予約 TEL:052-231-9771

■休館日 / 毎週月曜日(祝日の場合は直後の平日)、5/2、8/15は特別開館
毎月第3金曜日(祝日の場合は第4金曜日)、8/19は特別開館
年末年始、5/10、9/6・7は臨時休館
午前7時30分の時点で、名古屋市内に「暴風(雪)特別警報」、
「暴風(雪)警報」のいずれかが発表されているときは、終日休館します。

■観覧時間 / 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■観覧料 (下記の特別展は【大地のハンター展】です。)

	展示室とプラネタリウム	展示室のみ	特別展とプラネタリウム	特別展と展示室
一般	800円	400円	2,000円	1,600円
大学生・高校生	500円	200円	1,200円	900円
中学生以下	無料		500円	500円

*大学生・高校生は学生証が必要です。*未就学児は無料です。

■科学館公式ウェブサイト

<http://www.ncsm.city.nagoya.jp/>



■交通のご案内

地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」下車、4・5番出口から南へ徒歩約5分
市バス「広小路伏見」下車、南へ徒歩5分
名鉄バス「白川公園前」下車北へ徒歩5分